

【 1 年】

各教科共通

- ◎読み解く力〈6つの領域〉を土台として自己調整学習の推進を図る。
- ◎教科書分析を行い、言葉にこだわり、「読むこと・書くこと・話すこと」の時間を重視する。
- ◎必然性のある内容を工夫し、家庭学習との連携を図る。

国語

■児童の状況	○平仮名の学習を通して、文字を丁寧に書こうと意識して取り組んでいる。 ○練習を積むことで、音読はできる児童が多い。 ●平仮名の読み書きは定着している児童としていない児童の差が激しい。 ●助詞の使い方や、促音、拗音の書きが十分でない児童がいる。 ●やや文章を書く力が弱い。
■指導についての課題	・正しく文字や文を書くことの指導 ・語彙を増やす指導
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・毎時間文字や文を書く機会を設けたり、朝学習などで視写を多くしたりして、平仮名の読み書きの定着を確実なものにするとともに、文章を書く力を付ける。 ・促音、拗音など難しい表記については、プリントやノートに書く機会を多くし、定着を図る。 ・音読の宿題や、日常のスピーチ、授業のチーム学習などを通して表現力を付ける。

算数

■児童の状況	○ほとんどの児童は、10までの繰り上がりなしの足し算、繰り下がりなしの引き算の計算問題はできる。 ●文章題の演算決定や、答えの書き方に躓いている児童がいる。
■指導についての課題	・読み解く力を関連させた文章問題の指導 ・繰り上がり・繰り下がりの定着
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・具体物やカードやブロック等を用い、文章題をイメージできるように指導する。 ・教科書の文章題のキーワードや数字に線や印を付けさせ、問われている問題の意図を理解できるようにする。 ・ワークシートやホワイトボードを使って簡単な絵や図をかくことで、文章題をイメージさせ、立式から答えを出すまでの自己解決力を育てる。

生活

■児童の状況	○植物の生長を楽しみにし、意欲的に世話をしている児童が多い。 ○発芽や開花等の植物の生長の様子に、目を向けることができている。 ○2年生や6年生などとのかかわりを楽しみにしている児童が多い
■指導についての課題	・観察カードや振り返りカードに書く内容を明確にし、取り組むようにすること。 ・地域と関連させた単元の開発
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・書く内容や振り返りの観点を明確にし、短時間で書けるようにする。 ・地域に目を向けることができるような単元を開発する。

体育	
■児童の状況	○体を動かすことは好きで、意欲的に活動する。 ○ルールを守って取り組む姿が多く見られる。 ●投力がない ●運動体験が少ない児童が一定数いる。
■指導についての課題	・ゲーム領域の学習の流れの理解 ・投力を付けるような運動の組み入れ
■授業改善に向けての具体的な方策	・運動が得意、不得意に関わらず、楽しむことができる学習内容を提示する。 ・自分達で考え自主的に活動ができるよう、学習の過程を組んでいく。 ・投力を付けるような運動を、どの学習も取り入れる。 ・多様な動きを高める運動や体づくり運動などを取り入れ、いろいろな運動に慣れさせる。

特別の教科 道徳	
■児童の状況	○1時間の道徳の授業の中で、ねらいに達成する児童は多い。 ●発問に対して思いや考えはもてるが、発言まで至らない児童もいる。
■指導についての課題	・道徳的価値の大切さに気付かせる発問の設定 ・思考が深まらない児童への支援と配慮 ・道徳ノートの活用
■授業改善に向けての具体的な方策	・具体的なめあてを提示し、授業の流れをイメージできるようにする。 ・教科書の内容をしっかりと理解させてから、発問の解決に取り組むようにする。 ・主発問は、ペアで意見を交流させ、考えを広げたり、深めたりする。 ・発問に対する自分の考えを、道徳ノートに書き込んでいくようにする。 ・季節や時期、行事等に関連させた題材を取り上げることで、自分事として考えをもてるようにする。